

第5回厚木市中学校部活動の在り方検討委員会会議録

会議概要

会議主管課	教育部 教育指導課
開催日時	令和8年2月19日（金曜日）午後3時から5時15分
開催場所	厚木市役所第二庁舎4階 教育委員会会議室
出席者	厚木市中学校部活動の在り方検討委員9人 教育部 教育指導担当部長、教育指導課長、 事務局（教育指導係員、教育振興係員）
説明者	教育指導課指導主事1人

傍聴者0人

委員9人中9人出席（過半数）により会議は成立
会議の経緯は次のとおりです。

- 1 開会 事務局
- 2 教育指導課長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 答申書（案）について 資料1に基づき事務局から説明
《質疑応答》
なし
 - (2) 厚木市立中学校部活動地域展開推進計画（原案） 資料2に基づき事務局から説明
分散会（2グループに分かれて、答申書（原案）について意見交換）

《厚木市立中学校部活動地域展開推進計画（原案）に対する主な意見》

該当頁	意見等
全般	・この計画を市民や関係者等へしっかり周知をしていくことが大切である。
27 頁	・イ（ア）は教員ではなく、こどものアウトカムイメージではないか。 ・イ（イ）「向き合う時間の増加」という表現があるが、ある意味部活動も生徒に向き合う時間である。「教科指導に向き合う時間が増える。」「土日の時間を確保することで、教員に心の余裕ができる。」等のイメージがあるならば、そのような表現がふさわしいのではないか。 ・「向き合う時間の増加」については、もう少し具体的な表現にすると良い。 ・「アウトカムイメージ」という言葉が使われているが、「目指す姿」という表現の方が分かりやすい。
28 頁	・イ「持続可能な活動ができる環境を整備します。」や、ウ「厚木市の強みを生かします。」という表現があるが、厚木市の強みを具体的に書いた方が良い。
29 頁	・29 頁の内容が 28 頁の左側の表にリンクしているのであれば、見やすく整理した方が良い。

	<ul style="list-style-type: none"> ・イ（ア） d 地域連携という表現、地域展開と地域連携の表現の違いが分かりづらいので、工夫があると良い。 ・イ（イ） c 指導者の研修を誰が行うのかも考えることができると良い。クラブ内で行うのか、外部から講師を招いての研修なのか、できれば外部からの研修がよいのではないかと。また、生徒の安心・安全を考えると個人情報の扱いや、ハラスメントについても研修を行うことができると良い。 ・指導者の管理・監督できる立場があると良い。また、ライセンス制を導入するなど、指導者の質を確保する取組は考えておくと良い。 ・指導者の報酬について明記があると良い。 ・イ（エ） 市民や関係者等への理解促進が重要だと考える。
30 頁	<ul style="list-style-type: none"> ・（4） ア 「これまでの部活動と同等の活動」という表現があるが、この表現だと活動以外の部分でも今までの部活動と同様であることを連想させるため、表現を変えても良い。 ・厚木市教育委員会の認定となっているが、県の動向と違う動きになってはいないか。地域型総合スポーツクラブとしては、今までの活動や認定を受けてきた経緯がある。サポートクラブと総合型スポーツクラブの位置づけがよく分からないところがある。
31 頁	<ul style="list-style-type: none"> ・イ（ア） 「校区」という言葉があるが、学区とはどちらがうのか。 ・ブロック割については、1つだけ「中」とあるので、方角でそろえた方がよいのでは。また、図の中にも地区の名前を入れた方が良い。
32 頁	<ul style="list-style-type: none"> ・（エ） 設定の申請についてはこれからお願いします。 ・f 「営利目的を主にした、運営ではないこと。」とある。利益を追求する形になってはいけないが、企業側にもメリットがないと手をあげてくれる団体がないのではないかと。バランスをとっていくことが難しい。
33 頁	<ul style="list-style-type: none"> ・（イ） 「近隣市町村の中学生」という表現があるが、どのような子ども達を指しているのか。 ・三角形の図の上の文章。「出会う」を目指すこととしているが、発展的な活動をしたい生徒については、どのようにすればよいのかを考えておく必要がある。 ・「大会やコンクール等への参加についてそれぞれの認定クラブの判断とします。」とあるが、大会への参加については、中体連、中文連との調整、大会に出るクラブと出ないクラブの差などを考慮する必要がある。
34 頁	<ul style="list-style-type: none"> ・表が分かりにくい部分がある。地区の中に設置のない部活も分かるようにすると良い。 ・〈図表 45〉の下で吹奏楽について触れているが、最後の課題の部分に吹奏楽部に関する記述を入れても良い。 ・部活動の休養日の設定がされているが、学校ごとに試験前の部活動休養日はずれてしまうことも考えられる。そうすると合同で練習できない時間も出てきてしまう。 ・各ブロックの数に差があるのが心配。 ・ブロックにやりたい種目がない時には、他ブロックの活動に参加できることなど、柔軟に対応できることを記述できると良い。

35 頁	・指導者の報酬について触れると良い。
36 頁	<ul style="list-style-type: none"> ・フェーズ2からフェーズ3に移行するときに、国の動向を注視すると書いてあるが、もう少し具体的な時期がイメージできると良い。 ・37 頁のロードマップにも関わるが、厚木愛甲地区の組織整備も必要ではないか。 ・展開スケジュールについて、運営団体の設置をどのあたりで行っていくのかを示すことができると良い。また、運営団体をどのように導入していくのかを明記したほうが良い。 ・「ブロック制合同部活動」という表現を表のなかでも使うと良い。
38 頁	<ul style="list-style-type: none"> ・運営団体のイメージが具体的にどのようなものなのかが分かると良い。様々な運営団体がそれぞれ行うのか、様々な運営団体をまとめる組織があるのか。理想としては、様々な運営団体をまとめる組織に委託してもらえるとよい。

委員長：ここで答えが出ることではないが、追加で確認したいこと等はあるか。

委員：フェーズ1の時期は、休日だけ地域連携、平日は部活動ができないということになるのか。

事務局：委員のおっしゃる通りで、休日は地域のクラブに参加、平日は自校の部活動に参加できるが地域クラブには参加できない。

委員：休日の地域連携は、令和8年度からはじめていくのか。

事務局：現在の生徒たちのことも考えると令和8年度からはじめたいと考えている。